

参考文献

(1)一次資料

空海撰『即身成佛義』（『定本弘法大師全集』第三巻、高野山大学密教文化研究所監修『電子版、弘法大師全集』収録）

(2)二次資料（書籍）

岡村圭真

2008 『即身成仏義を読む』高野山大学

金岡秀友

2001 『密教の哲学』講談社

河合隼雄、清水 博、谷 泰、中村雄二郎 編

1992 『岩波講座 宗教と科学』（全12巻）岩波書店

高神覚昇

2004 『密教概論』大法輪閣

中村 元

1975 『佛教語大辞典』東京書籍

中村 士、岡村定矩

2011 『宇宙観 5000 年史 人類は宇宙をどうみてきたか』東京大学出版会

中村本然

2008 『真言教学の諸問題』高野山大学

早島鏡正、高崎直道、原 実、前田専学

1982 『インド思想史』東京大学出版会

宮坂宥勝 監修

2004 『空海コレクション 2』筑摩書房

宮坂宥勝

2011 『密教経典』講談社

宮坂宥勝、松長有慶、頼富本宏 編

1993 『密教大系』第五巻、法蔵館

村上和雄

1999 『生命の暗号②』サンマーク出版

村上保壽

2008 『密教思想と現代』高野山大学

吉原瑩覚

1970 『即身の哲学 密教哲学序説』理想社

(3)二次資料 (仏教に関する文献)

一島正真

1999 「DNA と悉有仏性論」『印度學佛教學研究』47-2

乾 仁志

2007 「弘法大師の両部思想」『加藤精一博士古希記念論文集 真言密教と日本文化 (上)』ノンブル社

大沢聖寛

2004 「即身成仏義言と『即身義』」『印度學佛教學研究』53-1

2004 『菩提心論』の理解」『佛教文化学会紀要』13

大山公淳

1939 「即身成佛義述作者」『密教研究』70

1961 「弘法大師の六大體大説」『印度學佛教學研究』9-2

小田慈舟

1952 「真言密教の曼荼羅思想について」『印度學佛教學研究』1-1

1969 「弘法大師の諸開題等に散見する釈論の思想」『密教文化』86

小野塚幾澄

1958 「大日經に於ける五大思想について」『印度學佛教學研究』6-2

勝又俊教

1964 「空海における即身成佛思想の展開」『印度學佛教學研究』12-2

加藤精一

1995 「空海と澄観」『印度學佛教學研究』44-1

2002 「異本即身義(計六本)の異本性」『印度學佛教學研究』50-2

加藤精神

1925 「六大縁起説は高祖大師の創見なり」『密教研究』19

金山穆韶

1922 「密教の正意」『密教研究』9

1925 「六大体大に就て」『密教研究』19

1926 「六大体大に就て」『密教研究』21

1927 「六大体大に就て (續)」『密教研究』24

1934 「三部書を中心として観たる大師の思想」『密教研究』51

亀井 宏

1969 「南方熊楠と佐藤春夫—南方熊楠の存在的意義—」『英学史研究』1

- 川田 薫
2013 「真言密教と科学の初歩的な比較論 その一、「六大と科学」『高野山大学密教文化研究所紀要』26
- 神林隆淨
1920 「現代思想と密教」『密教研究』3
- 北原裕全
1995 『多様不二照明論』の研究 高野山大学博士論文
- 熊倉伸宏
2008 「治療における「終わる」こと再考」『こころの健康』23-1
- 隈本有尚
1925 「現代密教徒の宇宙観(1)」『密教研究』19
1926 「現代密教徒の宇宙観(2)」『密教研究』20
- 栗山一郎
1925 「宇宙の成因と萬物構成の本質」『密教研究』19
- 黒木幹夫
1979 「真言密教の解釈学」『密教文化』127
1998 「密教の現代的意義」『密教文化』199-200
- 酒井敬淳
1968 「密教観法と自律訓練」『印度學佛教學研究』17-1
- 酒井紫朗
1947 「菩提心論に就いて」『密教文化』2
- 佐藤仁興
1935 「両部曼荼羅の起源について」『密教研究』54
1939 「佛教に對する西洋的見方の功過」『密教研究』69
1942 「智の本質について」『密教研究』80
- ジェフリー・ハント (松田正己、江藤裕之訳)
2009 「華嚴經の宇宙一枠組みのない、相互に反射する泡立ち」『比較思想研究』36
- 静 慈圓
1989 「弘法大師教学における因果論」『密教文化』166
- 司馬春英
2003 「仏教と科学 認知科学者の仏教理解」『佛教文化学会紀要』12
- 白川 歩
2000 「密教と現代生活」『密教文化』204
- 村主恵快
1962 「真言密教に見られるシンボリズムの方向について」『印度學佛教學研究』10-1
1964 「眞言行法に於ける心集中について」『印度學佛教學研究』12-1

- 鈴木晃信
1999 「仏教研究の近代化」『佛教文化学会紀要』8
- 千田智子
2000 「南方熊楠におけるヨーロッパ的科学思想と密教的世界観の統合」『比較思想研究』27
- 高神覺昇
1934 「弘法大師の仏身観」『密教研究』51
- 舘野正生
1996 「「縁起相由」の変遷に見る法蔵華嚴思想の形成」『印度學佛教學研究』45-1
- 高木健翁、村上征勝、伊藤瑞叡、岸根敏幸、佐野靖夫、伊藤康裕
2001 「サンスクリット法華經の計量分析の展望」『印度學佛教學研究』49-2
- 田中龍夫
1928 「電子論とその宗教的意義」『密教研究』29
- 谷口浩司
1978 「日本社会の意識構造についての分析視角」『密教文化』121
- 谷本光生
1988 「文明と宗教のかかわりについて」『MACRO REVIEW』1-1
- 玉城康四郎
1982 「空海思想のリアリズム」和多秀乗、高木紳元編『空海』吉川弘文館
- 梅尾祥雲
1925 「六大縁起説の史的考察」『密教研究』19
1934 「弘法大師の教義概観」『密教研究』51
1947 「空海撰即身成佛義」『密教文化』1
- 中村正文
1988 「体相用三大説考」『密教文化』163
- 生井智紹
2005 「曼荼羅と多様不二の論理」『頼富本宏博士還暦記念論文集 マンダラの諸相と文化 上—金剛界の巻』
- 八田幸雄
1982 「真言密教教学研究の二・三の問題」『密教文化』139
- 日和田慈円
1971 「即身成仏義にみられる弘法大師の思想的特色」『密教文化』97
1971 「即身成仏義における大日経の引用について」『印度學佛教學研究』19-2
- 福來友吉
1934 「弘法大師の神秘主義」『密教研究』51

藤田和正

1998 「密教福祉思想の構成原理」『密教文化』199-200

辺見宗範

1953 「即身成佛の原理についての一考察」『密教文化』24-25

別所衣子

1984 「量子力学が示す現代仏教の姿勢」『印度學佛教學研究』33-1

松田正己

2009 「ナノテクノロジーと複雑性、華嚴経と素粒子論をつなぐもの」『比較思想研究』36

松長有慶

1969 「両部マンダラの系譜」『密教文化』87

1982 「空海の引用文の特質」『和多秀乗、高木神元編 空海』吉川弘文館

1982 「理と智」『和多秀乗、高木神元編 空海』吉川弘文館

1988 「四種曼荼羅の解釈」『宗教研究』61-275

1988 「マンダラの宇宙観」『宗教研究』62-276

1993 「空海にみる生と死」『印度學佛教學研究』42-1

松永有見

1992 「即身成仏の史的観察」『密教研究』9

松丸俊明

1984 「『即身成仏義』と声字実相観」『印度學佛教學研究』33-1

1987 「法身説法説に関する一考察」『印度學佛教學研究』35-2

峰島旭雄

2003 「仏教と科学 方法論的省察」『佛教文化学会紀要』12

宮坂宥勝

1993 「即身成仏の思想」宮坂宥勝、松長有慶、頼富本宏編『密教大系 第五巻』法蔵館

村上保壽

1984 「密教における智の構造」『密教文化』146

1987 「空海の六大思想」『密教文化』159

1992 「『即身成仏義』の思想と構造」『高野山大学密教文化研究所紀要』5

1992 「宗教と科学」『密教文化』180

1994 「仏教と生死の問題」『密教文化』186

1995 「密教と生命科学の対話」『密教文化』189

2000 「空海の『開題』を読む(三)」『密教文化』205

2002 「空海の『開題』を読む(四)」『密教文化』208

2003 「密教の癒しと健康」『日本循環器病予防学会誌』38-3

室田保夫

1995 「宗教と医療」『密教文化』190

森田龍僊

1925 「阿字本不生と地大との関係」『密教研究』19

吉田宏哲

1978 「空海とツォンカパ -仏教観の相違をめぐって-」『印度學佛教學研究』26-2

吉原瑩覚

1968 「表現と即身」『密教文化』84

1971 「空海とホワイトヘッドにおける位相的原理の考察」『印度學佛教學研究』20-1

1972 「覚存の位相」『密教文化』98

1973 「Sein と法界」『印度學佛教學研究』22-1

1978 「Welt と世間」『印度學佛教學研究』27-1

1979 「自我と自己」『印度學佛教學研究』28-1

1980 「象徴と暗号」『印度學佛教學研究』29-1

1982 「弘法大師における比較思想の視座について」『密教文化』139

1983 「声字と言語」『印度學佛教學研究』31-2

1984 「生の根源的現実」『密教文化』148

1986 「生命と現実」『密教文化』160

和田性海

1934 「現代に於ける大師の宗教」『密教研究』51

(4)二次資料 (その他の文献)

池内 了

1995 「宇宙論の現状」『鉱物学雑誌』24-4

2005 「宇宙論の2つのダーク成分」『学術の動向』10-5

内井惣七

2006 「重力理論と宇宙論」『科学哲学』39-2

折戸 学,梶野敏貴

2003 「元素合成と宇宙年齢, 宇宙核物理 2.ビッグバン元素合成と宇宙論」『プラズマ・核融合学会誌』
79-9

神野慧一郎

1996 「科学における認識と「宇宙」の問題」『科学基礎論研究』24-1

小玉英雄

1985 「量子重力理論」『日本物理學會誌』40-8

佐藤勝彦,伊沢瑞夫

1984 「モノポールと宇宙論 (<特集>モノポール)」『日本物理學會誌』39-12

佐藤勝彦

1998 「宇宙論の現状」『学術の動向』3-5

佐藤文隆,松田卓也

1972 「宇宙論と銀河形成」『日本物理學會誌』 27-3

佐藤文隆

1985 「宇宙論と相対論 (<特集>一般相対論 70 年)」『日本物理學會誌』 40-8

杉山 直

1995 「宇宙マイクロ波背景輻射揺らぎと宇宙論」『日本物理學會誌』 50-9

田中 博

2000 「複雑系」『BME』 14-11

成相秀一

1961 「最近の宇宙論」『日本物理學會誌』 16-1

藤井保憲

1991 「相対性理論と宇宙論における時間」『科学基礎論研究』 20-2

ホーキング・スティーブン, 横山順一

1991 「宇宙の始まり」『日本物理學會誌』 46-7

松田卓也,二間瀬敏史

1983 「時間にはなぜ方向があるか?: その宇宙論的解答」『日本物理學會誌』 38-8

柳田 勉

1995 「基本相互作用のゲージ階層性」『日本物理學會誌』 50-4

山本克治

1998 「素粒子の標準模型と展望」『日本原子力学会誌』 40-6

渡辺 博

1989 「科学における「実在」の意味を尋ねて」『科学哲学』 22